

「これからの社会と地域コミュニティの重要性」

渋谷 寿一

『よい地域とは』

- 地域とは、「家族のあつまり」
- １００の家族があれば１００の幸せがある

「明日は良くなるかも知れない」そんな願いを実現すべく努力する

- 個人で解決すること、家族や友人がサポートすること、
全員で考え解決すること、地域で解決すること（自治）
- 地域だけでは、できないことを「行政」が行なう

家族の幸せを実現するための、地域づくり

『地域活性化』の現場での気づき

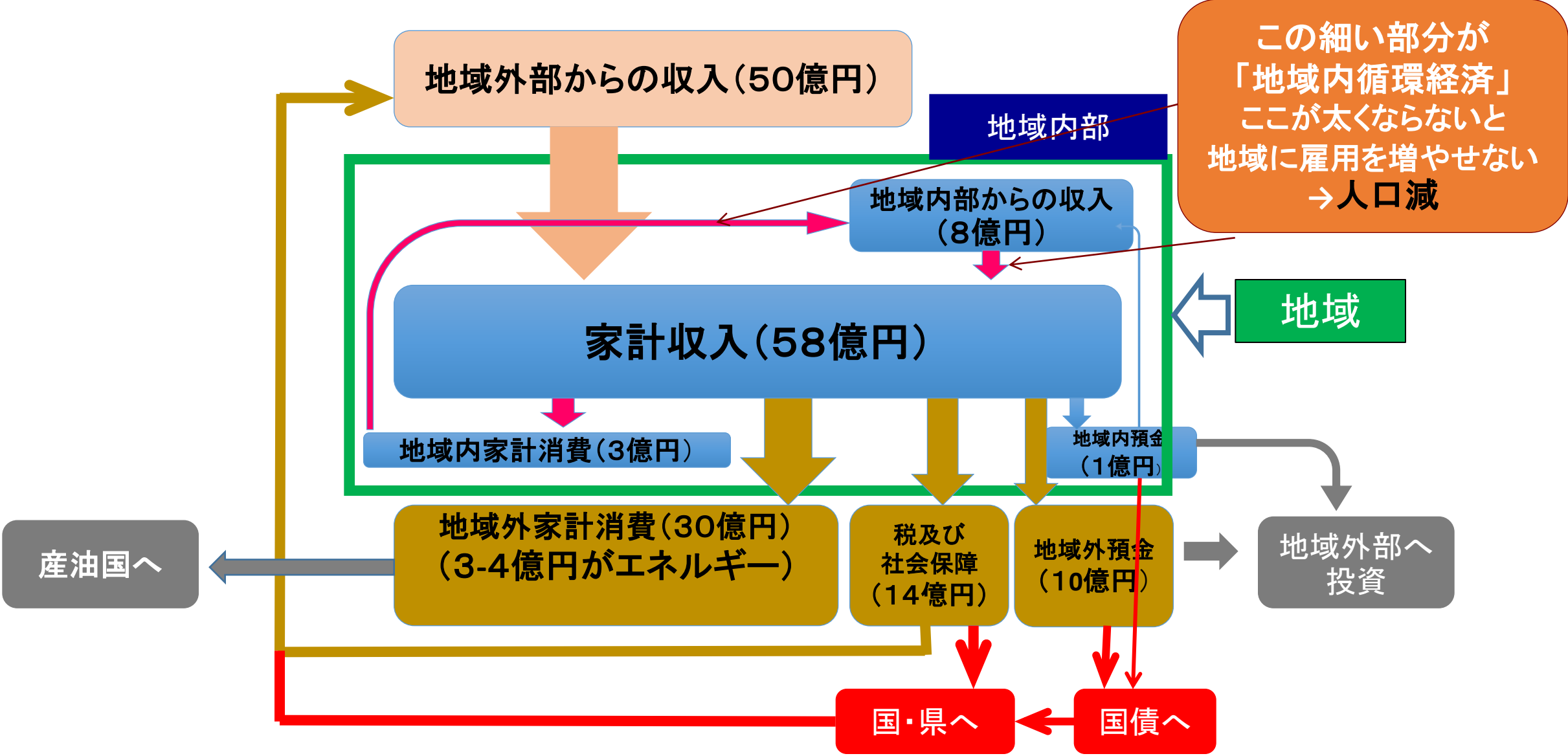
- ・産業の振興（生産性の高い**林業**・農業へのアプローチ・・・）
- ・仕事場づくり ・農業団地づくり
- ・工場誘致 ・施設（ショッピング・モールやテーマパーク）建設
- ・ブランド化（地域特産品、農産物、コメ、・・・）
- ・グローバルマーケットへのアプローチ
- ・ネットショップの開設
- ・観光振興 ・ふるさと納税



しかしながら、

活性化しない地域

平均的な中山間地域、3000人集落(豊田市旭地区)のお金の循環



◆地域内でのお金の循環は殆どない。 (総理府統計局消費動向データ)

里山資本主義(木質バイオマス)の学び

- 木は、かさ張る、汚い、重い（煩わしい） → 地域内消費がベスト
- ボイラー選定などの利用方法より → 収集・運搬システムが重要
(誰が、いつ、いくらで、どのように・・・地域で決定、それが地域の自治)

地域の価値を、地域住民が決めること

- 地域内の連携が不可欠 → エネルギー・素材事業のように見えて、

内実は、地域づくり事業（つながりづくり）

非経済的価値（**幸せ**の経済・経済統計にあがらない）

- **食料・エネルギー**の自給、採集、交換（自分を養い、分け合う）

- **結**、普請、共同作業（草刈、お宮の維持、田植え、屋根吹き・・・）

- 見守り、人と人のつながり、**寄り合い**

- **祭り**（社会教育、人材の育成・確保）

⇒ **関係性づくりの仕組み**

- **水**の共同管理、**共有林**（財産区）の管理

- **文化**（神楽、農村歌舞伎・・・）

共感の範囲（地域）、

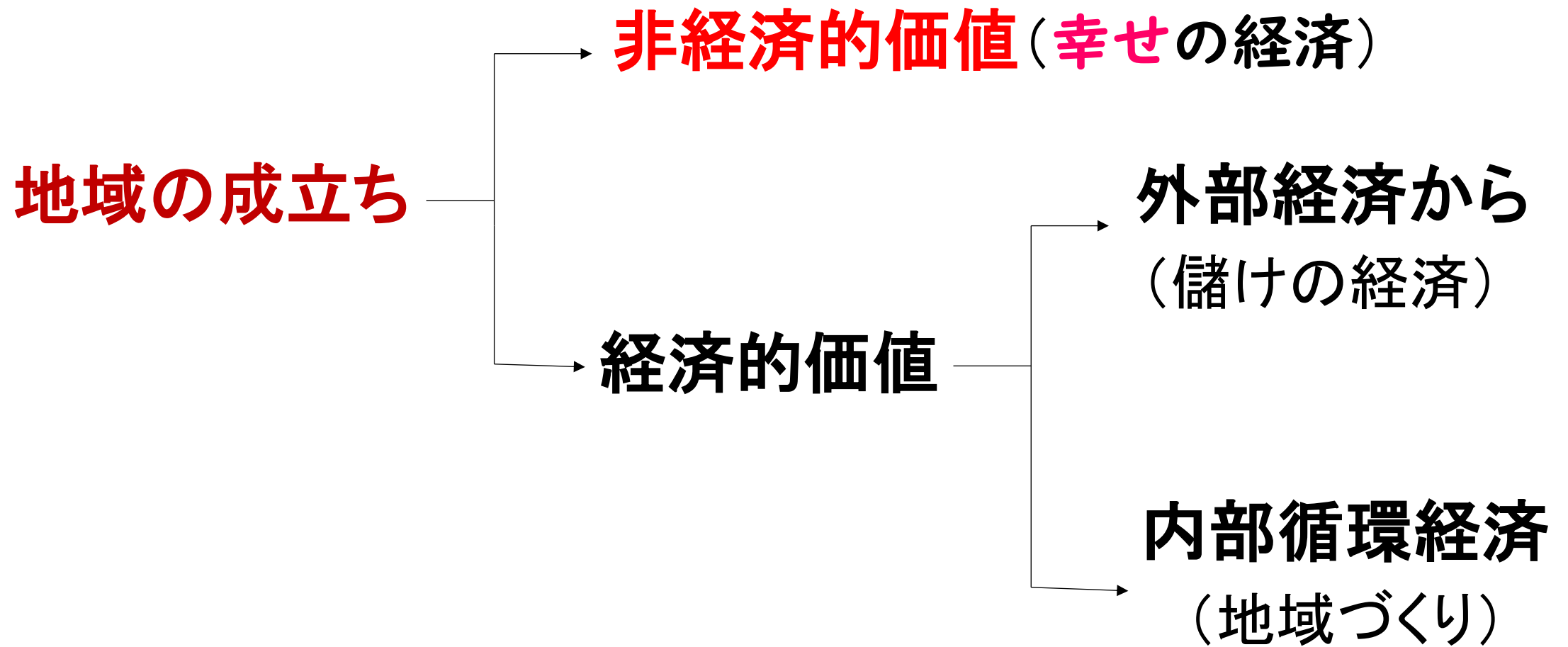
- **自然、景観、風景**

個人の**幸せ**、を構成する重要な要素

- **心**の置き方（風習、風土、価値観）

- **郷土愛、誇り**

- 先祖、**神様**、祖霊、山の神、庚申・・・



「自治とは、お役ではない！」

地域で**価値を共有する**仕組み

共有する価値の中には、

非経済的価値も、地産品の価格も含まれる

いわば**共感**を生み出す仕組みが**自治**

そして「**地域**とは、行政単位ではない！」

「自治」を壊した「無縁社会」

「無関心」「無視」「面倒くさい」 = 今だけ・お金だけ・自分だけ

「愛」の反対は、「憎しみ」ではなく「無関心」 (マザー・テレサ)

有限な地球で、戦争のない、平等な、持続可能な社会をつくるには、

人と人、人と自然、世代と世代が、つながること

→ つながるには、お互いが関心と共感を持ち合う社会

コミュニティー (地域社会)

「経験」と「場の共有」が**共感**を作る

そして「その共感が**地域**をつくる」

共感の範囲 (動物学者 山際寿一、元京大総長)

類人猿の中で「**共感**」を持つのは、**人**と**ゴリラ**・・・食卓を囲み、分け合って食べる

ゴリラの共感の範囲・・・15頭(サッカー11名、ラグビー15名、**肉体**の共鳴集団)

会社経営の共感の範囲・・・150人(**言語**を持つ人間、社員もその家族も一家)

地域の共感の範囲・・・1000-3000人(小学校区ー中学校区、**言語**を持つ人間が、**システム**を持つと、共感できる)

共感の薄れる現代社会・・・食卓を囲まない家族、SNSの噂話でつながるPTA、

祭りの消滅、地域コミュニティーの崩壊→**ゴリラ**から退化し、**サル**化する**人類**

地域は共感の範囲

持続的に、世代を跨いで、

自治を支える心と仕組み

世代と世代をつなぐ

仕事・つとめ・・・祭り、結い、山仕事
集落の自治

稼ぎ・・・家族を食わせる、山稼ぎ





祭りは「社会教育」の場

- 社会教育
（身体で） ... その風土の中で持続的に生きる、
知恵と考え方の伝承が祭り。（文化の伝承）
- 学校教育
（頭で） ... 何処の世界でも使える普遍的知識。
知識と課題の抽出・解決の手法を
教える。（文明への対応）
- 家庭教育
（心で） ... 躰、人と人の基本的コミュニケーションの
決まりごとを刷り込む。
非認知的能力。（体験、愛・赦し・慈しみ）

薬師さんの祭り(4月8日)

- ① お社で山神様を迎える神事。顔役と神職、巫女で執り行われる
(祝詞、神楽舞、白餅、お神酒、11時-12時)
- ② 公民館に「山神さん」をお連れする⇒
湯立ての神事(13時-18時)
田んぼの畔の**土**で釜戸、鉄鍋に堰の**水**、薪で**火**をおこす
・神職の祝詞、巫女舞、去年の**稲ワラ**で鍋の湯をまわし、
立ち昇る湯気を、各戸の戸長が吸い込む。
× 70戸(セット) ⇒ **山神**と**人**が一体に
- ③ 直会(村の政治の場、18時-20時過ぎ)
- ④ 翌日から、稲作の開始 ⇒ **農作業が変わると祭りは...**

集落は何によって結びつくのか

過疎にならない村「**高根**」(新潟県村上市)



高根の位置



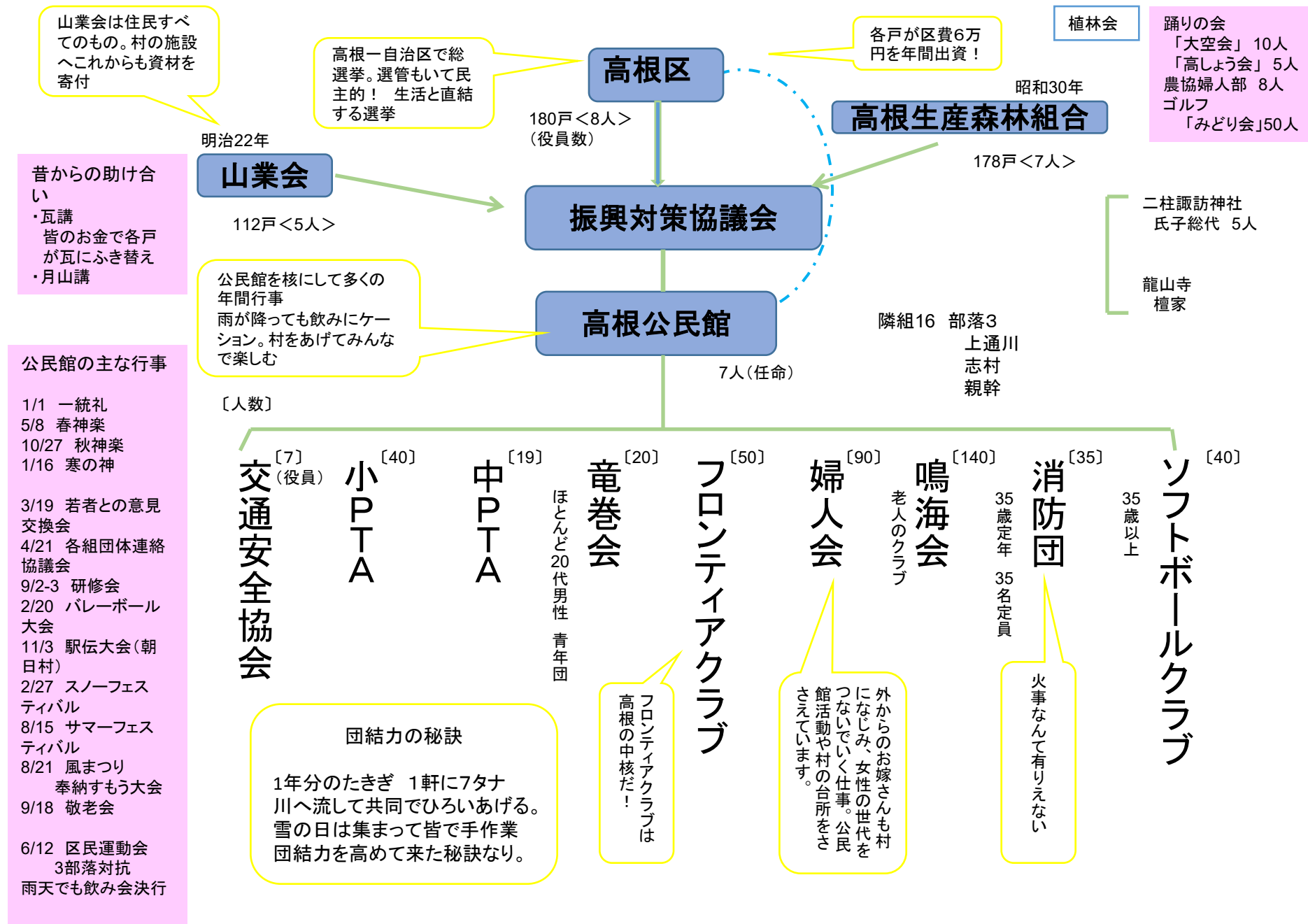


新潟県村上市高根地域

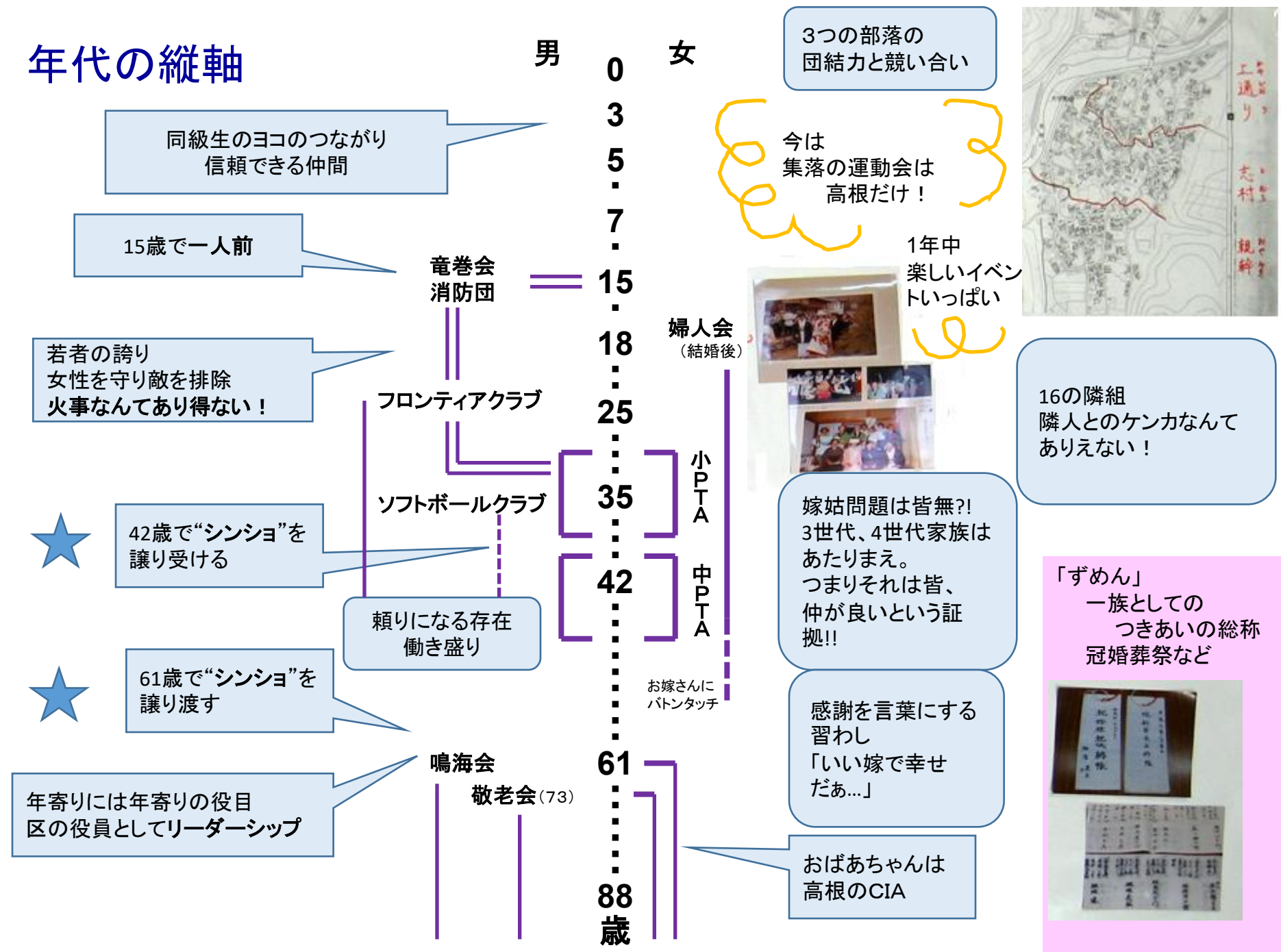
- 地域概要
 - 人口約500人
 - 戸数170戸
 - 世界有数の豪雪地帯
 - 豊かな自然の多様性
 - 10,000町歩の共有林、100町歩の棚田
 - 強固なコミュニティー



究極の特区！ 2015年日本より独立か!!



年代の縦軸



風の盆の相撲

風の盆・・・お盆行事の1週間後

稲の開花、結実の時期に、
大風(台風)が吹かないことを祈る。

村の男子全員参加の奉納相撲

村人全員参加の直会(なおらい、優勝者が村人全員をもてなす)





高根の奉納相撲

風の盆が意味するもの

村(コミュニティ)が結束するための「決まり(掟)」・・・

合理性、経済性、効率性、民主主義、の**外**にある概念

持続可能な社会の概念と言えるのか!?

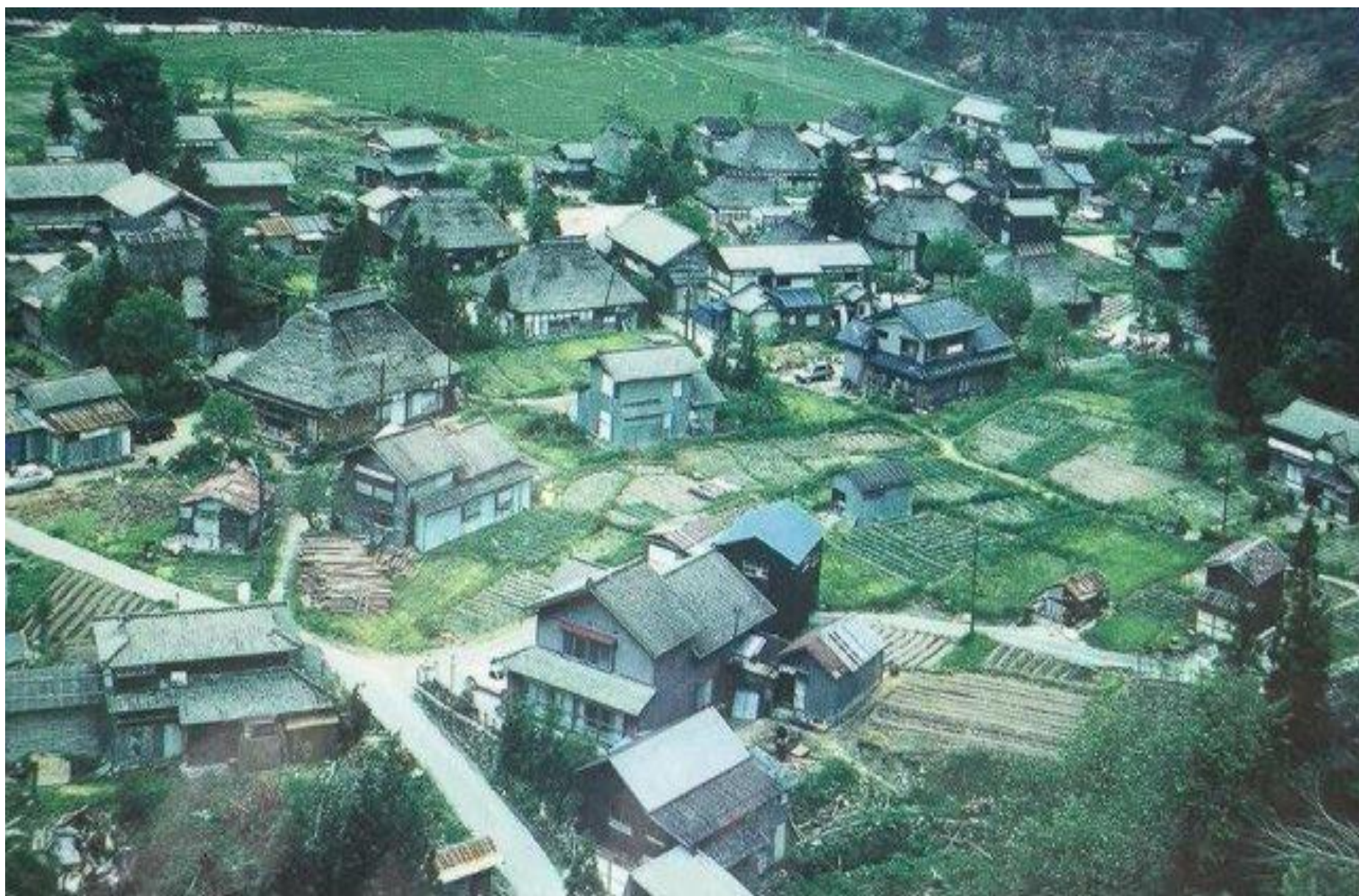
外にある概念とは・・・人の**関係性の密度**

「**共感**」



新潟県村上市奥三面集落(おくみおもて)







遠景（西→東）



環状配石（立石を復元したようす）



遺跡から南方面
（谷の奥は山形県小国町）



遺跡から東方面
（朝日岳方面）



配石
（下から埋甕がまともってみつかりました）



配石

★ ...アチャ平 遺跡

5000～3500年前

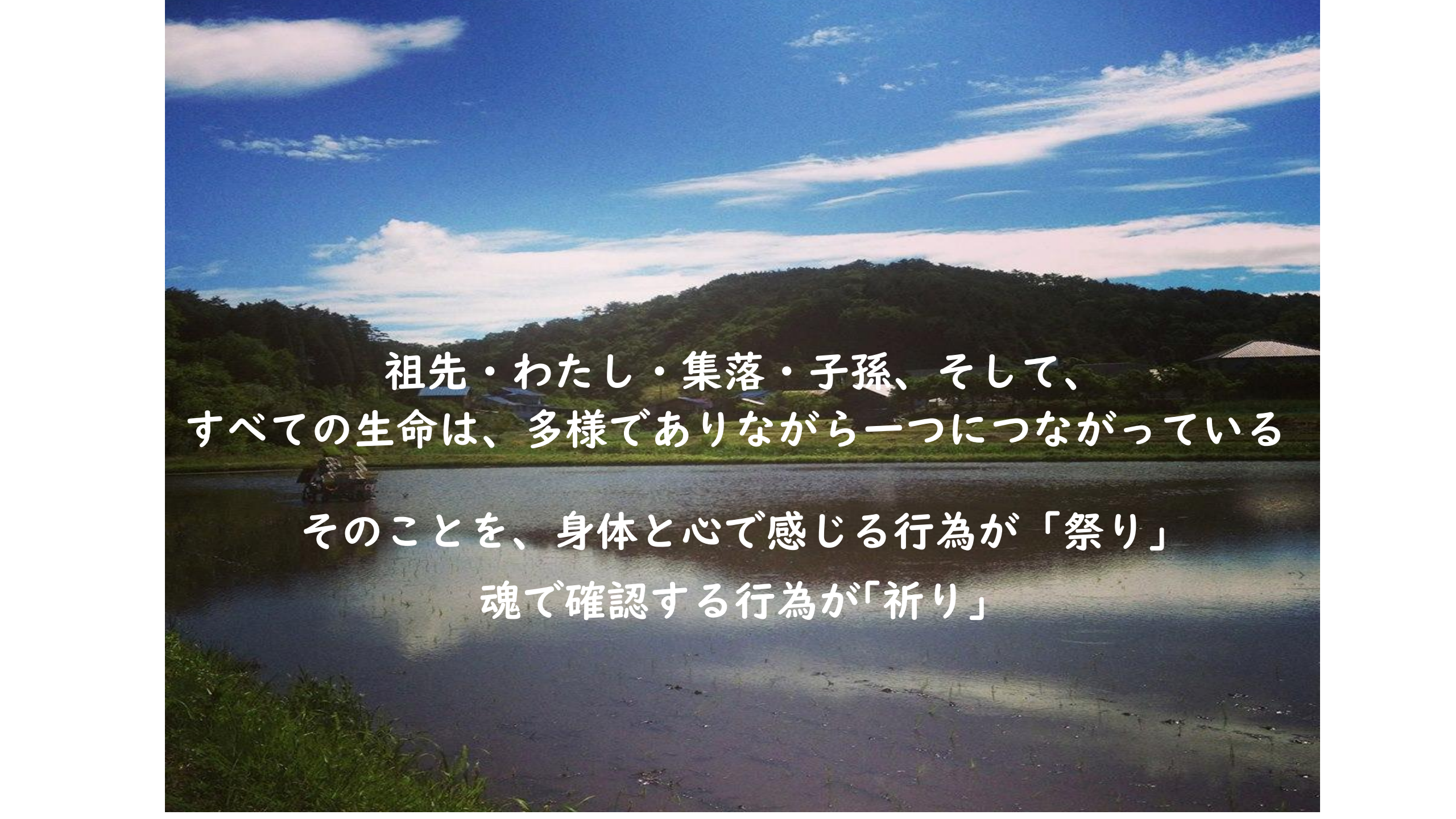
20戸の竪穴住居群

★ ...奥三面集落跡地









祖先・わたし・集落・子孫、そして、
すべての生命は、多様でありながら一つにつながっている

そのことを、身体と心で感じる行為が「祭り」
魂で確認する行為が「祈り」

人は何故、群れて暮らすのか!?

自然と共に生きたコミュニティ

(農耕の民は何故、共同体を作ったか)

農村から生まれた都市

最初に農山村ができた(自給圏、食料・エネルギー・福祉・・・)

無理に人を集めてつくられた都市

統治者(権力)の発生→町^{チヨウ}の形成

農村からのあふれもの＋農村からの徴用＋地方の豪族を呼び寄せる

雑役(雇用)の発生＋敗残者＋身障者→河原者(芸能、庭師・・・)

計画的な都市の誕生(江戸、武家屋敷68%＋寺社16%＋商人町16%)

「農村」の理論とは

明治初年、就労人口3300万人のうち、3000万人が農民(百姓)

- ・自然(季節)は待ってくれない！自然の変化から逃げられない

(春→夏→秋→冬)誰の上にも、季節は平等。 皆が、季節に合わせて暮らすのが「農村」

- ・暮らしのテンポは村人全員が同じ。村は同業者の集まり。

- ・地域生態系からも逃げられない・・・(虫は村中飛び回る。1人だけ無農薬は覚悟が必要)

- ・農地を持てば、コミュニティからは逃げられない。四季の移ろいに合わせるには協働。

地域コミュニティに対し、心を開く、暮らしを開く、覚悟が必要

(ねばり強さ、勤勉さの資質を育む)

歩調を合わせた村の暮らしから、共同体の崩壊へ

同業者集団だから成り立つ慣習→

稼ぎ(役人、教諭、軍人、出稼ぎ・・)の発生、太陽暦の導入→

公役の免除、代理出席→金銭授受での解決→

コミュニティー維持が困難に→ 若者の参画、祭り、隠居などの制度改革

親方・子方の相補関係→貧しさから抜けられない子方→

子方の独立(農地解放)→公共事業、伐採、養蚕(お金の稼ぎの発生)→

権利の主張→ 離村(人口の減少)→共同体の崩壊

村八分(葬式と火事以外は付き合いを断つ)

- ・共同体の崩壊を食い止めようとする力⇔法律の普及、権利の主張

- ・八分にされた者

掟に従わないわがまま者、公役を務めないもの、

祝儀不祝儀の付き合いをしない者、犯罪者、姦通した者

共有山を勝手に利用した者、他人の田畑を荒らす者、

休みの日に休まない者

世間体(結合の呪縛と解放)

「**有難さ**」と「**煩わしさ**」の塩梅(あんばい)を探し続けた日本人

都市での出世、故郷に錦を飾る→「ざまー見ろ！」でも、切れない臍の緒
群れから離れる(木地師、炭焼き、漁民、芸能人、ヤクザ、出稼ぎ・・・)

- ・生きることが**難しい時**→結束、絆
- ・生きることが**安易な時**→自由、個人

社会保障と消費税、都市と地方、世代と世代、金融資本と実体経済・・・

自然の中で「**生きる**ということが、最優先」だった日本、

そこに登場した「**資本主義**」(**お金**を中心とした社会の登場)